

NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

98年のキーワードは「エレクトロニックコマース」と「ウェブアプリケーション」 インターネットワールド97速報

97年12月8日から12日まで、米国ニューヨークのJacob K. Javits Convention Centerにおいて「インターネットワールド97」が開催された。今年はウェブベースのエレクトロニックコマース関連、およびJavaをプラットフォームとするウェブアプリケーション関連のソリューションの発表が目立った。米国では、ウェブを通じたサービスを付加価値として顧客に提供するというビジネスモデルが本格的に始まりそのような気配である。2年以内には必ず日本にもやってくる米国トレンドを現地からレポートする。

編集部：倉園佳三

企業向けJava環境が出そろう

Javaプラットフォームの中心的存在のサン・マイクロシステムズ社は企業での本格的なJava環境構築に向けてさまざまなラインアップを発表した。

まず、98年12月末までにJDKの次期バージョンが登場する。これには、Javaアプリケーションのインターフェイスを構成するためのクラスライブラリー「JFC」(Java Foundation Classes)が含まれ、Javaパーチャルマシンもさらに高速な「HotSpot」(開発名)にチューンアップされる。

次に、企業にJavaコンピューティング環境を導入するためのスイート「Javaジャンプスタートフォーエンタープライズ」を発表。「WebTopサーバー」、「JavaPC」、「HotJava View」など、サーバーからクライアント、開発環境、ユーザーサポートにいたるまで、きめ細かな製品とサービスが1つの

パッケージにまとめられた。

これを補う形で、既存のグループウェアやデータベースとJavaのコンポーネントであるJavaBeansを結び付ける「The Enterprise JavaBeans」も発表。企業が既存のシステムを残したまま、JavaBeansで開発されたアプリケーションを導入できるようにするのが狙い。これには、IBM、オラクル、ネットスケープ、ノベルをはじめとする19社が賛同しているとのことだ。

さらに、今後JDKがバージョンアップした際に既存のWWWブラウザに最適なJavaパーチャルマシンを自動的にセットアップするためのプログラム「Java Activator」を発表。これによって、JNI (Java Native Interface) や RMI (Remote Method Invocation) をサポートしていないインターネットエクスプローラ4.0や、JDK1.1以前に発表された古いバージョンのWWWブラウ



ニューヨークで行われたインターネットワールド97の展示会場

ザーでも、最新のJDKで開発されたアプリケーションが問題なく動作するようになる。

ネットワークコンピューティングでオラクルとノベルが強力に提携

オラクルは、オラクル8のモバイル対応版「オラクルライト3.0」を発表。オラクル8が常に接続されているネットワークでの使用を想定しているのに対して、オラクルライトはPDAやラップトップなどの接続と切断を繰り返すようなモバイル環境での使用が考慮されている。たとえば、モバイルコンピュータを使ってデータベースから情報をダウンロードしている際に万が一ネットワークが切断されても、次に接続した時点で差分だけをリカバーしてくれる。加えて、オラクルウェブアプリケーションサーバー3.0の次バージョン「オラクルアプリケーションサーバー4.0」をはじめ、「ペイメントサーバー1.0」、「イン

ターネットコマースサーバー1.1」を発表した。

また、ノベルは、Java アプリケーションを管理するためのプラットフォームとして「Open Solutions Architecture」(OSA)を発表。オラクルとの提携を深め、自社の「Novell Directory Services」(NDS)とオラクルの「Application Server」との統合を図るとしている。

MCI、IBM、AT&T が提供するネットワークビジネスの新サービス製品ではなく、ウェブベースのビジネスをバックアップするための新しいサービスを開始するメーカーも目立っていた。

MCI社はダイヤルアップ専用の「MCIバーチャルプライベートネットワークサービス」の開始を発表した。これによって、世界50か国からダイヤルアップで企業内のLANにリモートアクセスできるようになる。セキュリティ部分はSecuRemote社とCheck Point社との技術提携で行い、リモートアクセスに関しては、マイクロソフト社の「コネクションマネージャー」を使うとのこと。イントラネットを導入した企業に遠隔地からの接続性を保証するサービスとして注目を集めた。

IBM社は、インターネットサービスプロバイダーのサーバー運用などをバックアップする「サブスクリバーマネジメントシステム」、およびコンテンツのホスティングサービスの開始を発表した。

AT&T社はホームページやメールアドレス

を提供する「ワールドネット」のビジネス版を開始。さらに、企業向けにウェブサイトの制作を代行するサービスを始める。価格は、サイトの機能に応じて500ドルから15,000ドルの間で自由に選べるとのこと。

マイクロソフトはBackOfficeとコマースプラットフォームを発表

Java陣営に対するマイクロソフト社は、9日にFour Seasonsホテルで行われたプレスミーティングにおいて、「BackOffice 4.0」を98年1月末に出荷すると発表した。このバージョンでは、ウェブベースのイントラネットサイトを簡単に構築し、それを管理するための機能が強化される。具体的には、WWWブラウザからのサーバー管理機能の充実、セットアップを自動化する「インテリジェントシナリオベースドセットアップ」、サイトの構築を簡略化する「イントラネットスターターサイト」の3つのサービスが追加される予定だ。

また、10日にはCommerce One社と共同で、コマースプラットフォーム「Commerce One EC Applications」を発表。現在、さまざまな方式で行われているEDIトランザクションの標準を作ることが狙い。構造としては、下層から順に、マイクロソフト社のNTサーバー、SQLサーバー、IIS、トランザクションサーバーで構築した環境の上に置かれ

ることになる。

リアルシステムに課金機能が追加

ストリーミングメディアの中心的存在であるリアル・ネットワークス社は、「リアルシステム5.0」の出荷を発表した。このバージョンでは、28.8Kbpsの回線速度でCDクオリティーの音質を実現し、100Kbps以上ならフルスクリーンの動画再生が可能になる。

さらに、初のビジネス向け製品「リアルシステム5.0コマースソリューション」を発表。これによって、ストリーミングコンテンツの視聴に課金することが可能になる。具体的には、ユーザーが有料コンテンツのリンクをクリックすると、ユーザーIDとパスワードを入力するダイアログが表示され、入力した情報が正しい場合だけプレイヤーが起動してコンテンツが再生されるというシステムになっている。

このほかにも、富士通とComputer Associates社が共同で発表した「Jasmine」やNetObjects社の「TeamFusion」など、ビジネス利用を想定したウェブサイト向け製品は数多く登場している。IBMやインテルがこのイベントで使ったキャッチフレーズ「e-business」がまさにインターネットワールド97を象徴していた。

なお、ここで紹介できなかった展示会場の出展に関しては、特に注目すべき製品を来月号でまとめて紹介する。ぜひ、楽しみにしていただきたい。



10日に行われた基調講演で、ネットワークコンピュータのメリットを力説したオラクル社CEOのローレンス・エリソン氏



サン・マイクロシステムズ社の子会社、Javaソフト社社長のアラン・バラッツ氏。11日の基調講演で企業向けJava製品群を発表



左から、リアル・ネットワークス社社長のロブ・グーザー氏、同社副社長のフィリップ・ロスデル氏。リアルシステム5.0を発表

データベースと連動したコンテンツ コンティニュースパブリッシングを目指す マクロメディア社

さまざまなオーサリングツールを持つマクロメディア社は、ここ数年ショックウェーブなどウェブ用コンテンツ分野に力を入れている。同社の上級副社長兼最高技術責任者ノーム・マイロウィッツ氏に、同社の目指すマルチメディアコンテンツのオーサリングツールの開発ビジョンについて聞いた。

聞き手：本誌編集長 中島由弘



マクロメディア社 上級副社長兼最高技術責任者
ノーム・マイロウィッツ氏



編：マクロメディア社はマルチメディアコンテンツのオーサリングソフトを開発していますが、マルチメディアコンテンツは、CD-ROMからインターネットのコンテンツに人気に移りつつあります。マクロメディア社では、こうしたマルチメディア市場の変化に対してどんな考えをお持ちでしょうか。

マイロウィッツ氏(以下、M)：まず、マクロメディア社の役割というのは、マルチメディアコンテンツのデザインやデリバリー、表示のためのシステムをすることです。そういった意味では、マルチメディア市場というのは、まだ拡大し続けていると考えています。

たとえばCD-ROMは、マーケティングツールや企業情報を配布するツールとしても使われています。また、インターネットマガジンの1月号の付録CD-ROMに収録されている「Provider Shocked Search」のように、Shocked CD技術を使ってインターネットと連動したコンテンツも作られるようになってきました。

またインターネット上のコンテンツも充実しています。フラッシュを使うとアニメーションが実現できますし、ショックウェーブを使うとゲームなどのインタラクティブなコンテンツを実現できるのです。それから、リアルネットワークス社と協力して、フラッシュのアニメーションとリアルオーディオの音声を連動させる「リアルフラッシュ」もリリースしました。こちらは22.8Kbpsのモデムでも音声付のアニメーションを十分に楽しめる

ということで、非常に好評です。



編：ショックウェーブなどのプラグインソフトはインターネット上のコンテンツを豊かにしてきましたが、次にはどんなツールが出てくるのでしょうか。

M：次の展開として、「ディレクターJavaプレーヤー」、「フラッシュJavaプレーヤー」の版をリリースしました。これらは、マクロメディアの「ユニバーサルメディア・ストラテジー」という戦略の一環です。これは、コンテンツ制作者が1つのコンテンツを制作したら、どんなユーザーでもそれを見られるようにするというものです。



編：ユニバーサルメディア・ストラテジーとは、1つのツールで制作したコンテンツをCD-ROM、インターネット、紙といった複数のメディアにアウトプットできるという意味がありますか。

M：ここで言う「メディア」とは、ウェブ上の表現手段のことに限っています。現状では、1つのツールでコンテンツを作ると、それに対応したプラグインソフトがなければ見られません。しかし、そのプラグインを手に入れられないエンドユーザーもいるわけです。

そこで、作られたコンテンツをプラグインソフトがある場合はそれを使って、プラグインがない場合はJavaを使って、Javaに対応していない場合はアニメーションGIFを使って再生し、どんなレベルのユーザーでも見られるようにしようというのがユニバーサルメ

ディア・ストラテジーの考え方なのです。



編：マクロメディアはこれまでさまざまなオーサリングツールを手がけてきましたが、12月9日にはHTMLエディター「Macromedia Dreamweaver (ドリームウィーバー)」を発表されましたね。

M：はい。これは12月8日に米国で出荷されたウェブ用オーサリングツールで、日本語版は98年4月に出荷される予定です。ダイナミックHTMLをサポートしているので、動きのあるプロフェッショナルなウェブページを作ることができます。

マクロメディアとしては、CD-ROMもインターネットも重要であると考えていますので、メディアの別を問わず、力を入れていきたいと思っています。



編：既存のメディアの枠組みを越えるということは、パッケージメディアとノンパッケージメディアの融合につながってくると思いますが、最終的にはインターネットに集約されるのでしょうか。

M：そうですね。「インターネットだけに」というのは、少し短絡的ですね。

たとえば紙というものも、十分有効なメディアだと思います。もしインターネットマガジンがネットワークの雑誌だというのなら、紙で出す必要はありませんよね。しかし、同じ内容をデータ化したとすると数テラバイトにもなります。一方、紙ならば解像度の高い写真も大量のテキストも一度に伝達すること

ができるわけです。

テレビが發明されたときには、ラジオがなくなると言われました。またワープロが出てきたときには「ペーパーレス・オフィスの時代が来る」と言われました。しかし現実はどうでしょうか。少なくとも、私のオフィスでは紙は健在です。

将来的には回線のスピードも上がって大量のデータをネットワークで配布することもできるかもしれません。しかし、CD-ROMや紙などの既存のメディアは今後も用途によって使い分けられていくと思います。CD-ROMは大量のデータを配布するには適していますが、一度ユーザーの手に渡ると、情報を更新することはできません。

ですから、CD-ROMとインターネットから取り込まれたデータとを組み合わせる Shocked CD は、2つのメディアの特性を活かしたコンテンツです。そういう意味では、1つのソリューションで複数のメディアに対応するという構想に合致すると言えるでしょうね。



編：マクロメディア社の製品はプロ指向のものが多いと思いますが、インターネットのコンテンツを制作するプロにとっては多くのページを制作したり、たくさんのデータを扱ったりしたいというニーズがあります。これを満たす製品の開発予定はありますか。

M：それについては「注目しててください」とだけ申し上げたいですね。98年4月には新しい展開についてお話しできると思います。ウェブページには、常に更新し続ける類のものがあります。マクロメディアではこれを「コンテンツアスプリッシング」と呼んでいます。こうしたページを作るためのデータのテンプレートを作るツールを開発しています。これはデータベースとも連携し、テンプレートに必要なデータを入力すると自動的にウェブをアップデートするというもので、ビジネス向けのソリューションになるでしょう。

ショックウェブやフラッシュを使ったアクティブなコンテンツをウェブサイト制作の第一段階とするならば、テンプレートを使って大量のデータをアップデートするコンテ

インターネット・ニュースの見方

ニュースパブリッシングは第二段階に位置するものだと考えています。マクロメディアではこれらのツールを強化して、より高度な制作環境を提供したいと考えています。

今後のウェブ関連のツールについては、「カスタム化」と「アップデート」が重要なキーワードになると思います。やはりインタラクティブマーケティングといったビジネスのレベルに達するためにカスタム化は欠かせませんし、常に最新のデータを提供するコンテンツアスプリッシングが実現しなければ、情報の価値は下がってしまうでしょう。



編：プロのツールと言うためには、コンテンツをお金にするための仕掛けも必要だと思います。現状では、オンラインのコンテンツをお金にする方法はまだ確立されていません。マクロメディア社の製品では何等かの機能を用意していますか。

M：次世代のオーサリングツールには、「どのユーザーがバナーのどの部分をクリックした」といった情報を取り出せるトラッキング機能を付ける予定になっています。このトラッキング情報をもとにマーケティングを展開することも可能ですし、バナー広告から直接ECを利用できるようにもなります。

今までお話ししてきたのはウェブページのパーツとなるコンテンツを作るためのツールですが、これらの中心に位置するのが Dreamweaver なのです。ディレクターやフラッシュ、そしてこれから発表する新しいツールで作ったコンテンツを統合して、より魅力的なウェブページを構築するのが、Dreamweaver の役割です。



編：最後に、ウェブ上のコンテンツがどのように進化していくのか、またマクロメディア社が今後のメディアの多様化にどう対応していくのか、お考えをお聞かせください。

M：従来のテレビや雑誌などは、ユーザーに一方的に情報が伝えられるパッシブメディアです。そして、近年登場したインターネットは、ユーザー自身がアクションを起こすことができる初のインタラクティブメディアと言えるでしょう。

しかし、インターネットはまだ揺籃期・幼児期にありますから、これからもっと発展していくと考えています。今後さらにアクティブでダイナミックな、そしてインタラクティブなコンテンツが必要とされると思います。

これらのニーズに合わせて、プロフェッショナルのためのオーサリングツールを提供していくのがマクロメディアの仕事だと考えています。



編：本日はどうもありがとうございました。



マイロウィッツ氏とDreamweaverの起動画面

photo:Hiroji Kazuo

インターネットで成功したソフトウェア会社 ウェブから生まれたアレイア社の誕生秘話

日本ではまだなじみは薄いですが、ウェブ開発ツールのソフトウェアメーカーとして米国ではすでに高い地位を築いているアレイア社。ウェブ上で設立し、セールスやサポートまですべてウェブ上で行うというまったくのウェブ上の企業である。どのようにしてこの会社ができ、そして成功を収めたのかを、設立者の1人で副社長でもあるジェレミー・アレイア氏に聞いた。

聞き手：編集部



米国アレイア社副社長のジェレミー・アレイア氏

アレイア：インターネットに少しずつ活気が出てきたころ、ビジネスチャンスだと思い、すぐにもコンピュータが必要になったのですが、当時はたいしたコンピュータを持っておらず、お金もありませんでした。そこで、兄と一緒に電器屋に行き、コンピュータを兄のクレジットカードで買いました。クレジットカードを使えば、30日間以内ならば返品できるので、29日間使って30日目にコンピュータを返品するということを何度も繰り返して、インターネットの最新技術を身につけました。そうこうするうちに仕事が入り、まともなコンピュータが買えるようになったわけです（笑）



Q：インターネットで成功された今の会社の状況をうかがいたいのですが。

アレイア：1年前は従業員は14人でしたが、今では100人を超える規模になりました。最初は友人ばかりでしたが、今ではロータスやクラリス、アップルからプロフェッショナルな人たちが入社するようになりました。1年前はユニークなアイデアのソフトウェア会社でしたが、いまでは、世界に通用するようなメジャーな会社に成長しました。



Q：今後の製品展開を教えてください。

アレイア：今のところ、現行製品を拡張していく予定です。HTMLエディターのHome SiteはHTMLの開発だけでなく、Cold Fusionの開発もできるようなものにしていきたいと思っています。さらに先には、さまざまな製品を出していくと思いますが、今の製品よりも優れた開発ツールを出していこうと考えています。

URL <http://www.allaire.co.jp/>



Q：アレイア社はウェブ上で設立し、セールスからサポートまですべてウェブ上で行っていますが、どうしてそのようなことが可能だったのか教えてください。

アレイア：私は19歳からずっとインターネットに携わってきました。しばらくしてコンサルティングを始めて、WWWが登場してウェブを使ったインタラクティブなシステムを開発する仕事が入りました。しかし、従来の技術でそのシステムを開発するのは非常に大変だということに気づき、簡単に開発できるようにと作ったツールが「Cold Fusion」の原形です。

このツールがかなり汎用的なものであったので、95年の春に、ウェブからダウンロードできるようにしました。30日間の評価版でしたがオーダーをしてくれる人が多く、売れる商品だと気づいた兄と私は、本業をやめてすぐに会社を作りました。これがアレイア社の始まりです。最初からセールスやサポートをウェブで行い、広告なども出さず、すべてをウェブで行う今までにないウェブ上の新しい形態の会社になりました。

なぜこのようなことができたかということ、インターネットにどっぷりはまっていた私は、どのようにしたらこのソフトを使ってもらえるかという術を知っていたからです。たとえば、多くのインターネットユーザーの目にとまるように、メーリングリストやニュースといったものを使ってこのソフトの告知をしました。最初は評価用のソフトウェア

を数百人がダウンロードしてくれて、その後口コミで広がり、うなぎ登りにユーザーが増えました。そしてそのまま会社が急成長したというわけです。

また私たちの製品を使ってくれる人たちも、インターネットに深く携わっている人たちばかりでした。だから、サポートなどもウェブを使うことができたのです。

マイクロソフトのような大きな会社がインターネットにかかわるずっと前から、インターネットに関する技術と深い理解を持っていたことが、会社を設立するうえで重要だったと思っています。



Q：設立当初の社員のうち、それまでインターネットに携わっていた人はどれくらいだったのでしょうか？

アレイア：設立当初は、私と兄と数人の友人だけでした。全員が何らかの形でインターネットに携わっていましたが、大学で専門的に勉強をしたわけではなく、趣味でインターネットを使っていたアマチュアばかりです。もし、私たちが大学などで専門的なことを学び、テクニカルなことに長けていた人間だったら、Cold Fusionのような製品はできなかったでしょう。Cold Fusionは、簡単に扱えるというのが売りですから。



Q：ずっと昔からインターネットを使っていたおかげで、Cold Fusionのような製品のアイデアが生まれたと思うのですが、これまでの苦労を教えてください。

Event デジタルパブリッシングの展示会 SEYBOLD SEMINAR TOKYO 97 開催

12月10日から12日の3日間、幕張メッセにおいて、日本で唯一の、そして最先端のデジタルパブリッシングの展示会、SEYBOLD SEMINAR TOKYO 97が開催された。インターネットにも欠かせないデジタルパブリッシングの現在と将来は、ここから見えてくるのか。このショーをレポートする。

編集部

SEYBOLD SEMINAR TOKYO 97に出展される製品や新技術の主体は従来からの紙媒体用のものなのだが、やはりこの世界でもインターネットははずせないようだ。

それをよく表しているのが、「インターネットが拓くデジタル・パブリッシング」というキーノートスピーチだ。米国のアドビシステムズの上級副社長兼グラフィックディビジョンジェネラルマネージャーのロス・ポット氏、マクロメディアの上級副社長兼最高技術責任者のノーマン・メイロウイツ氏、アップルコンピュータのデザイン&パブリッシングシニアディレクターのジェフ・

マーティン氏という顔ぶれからも、インターネットにおけるデジタルパブリッシングの重要性がうかがえる。

コンファレンスやチュートリアルにも、ウェブデザインからビジネスモデルの模索、セキュリティやエレクトリックコマースまで、インターネットパブリッシングにかかわるさまざまなプログラムが用意されていた。

ショー会場にも、「Web Publishing Pavilion」というテーマゾーンが設けられており、ヤフー㈱やソフトバンク㈱など8社が展示を行っていた。しかし、1社ごとのブースが小さく、集客の面ではもう1つ、



人気のマクロメディアの体験セミナーの様子

インターネットパブリッシングの分野で一番注目を集めていたのは、マクロメディア㈱だ。ここにはおなじみの「Flash」、「Director」と先日リリースしたばかりの最新HTMLエディターの「DreamWeaver」があり、デモとその場で参加できるセミナーには来場者が列をなしていた。また、アドビシステム㈱も新書体や「アクロバット」のデモで来場者を集めていた。

しかし、このショーでしか見られないような新技術や新製品が少なく、ショー全体としては若干さびしかったというのが正直な感想だ。

Event 「検索の鉄人」決戦大会が開催 「鉄人」の称号を勝ち取ったのは34歳の関裕司さん

有限会社デジタルプラスが主催するイベント「検索の鉄人 決戦大会」が11月24日に、東京台東区のAsahiスクエアAで開催された。検索技術を競う初めてのこのイベントでは、著名人や一般観覧者の歓声の中、10人の達人が競い合った。その決戦大会の模様をお伝えする。

編集部

「検索の鉄人」はインターネット上の検索エンジンで、出題されたテーマについてできるだけ早く探し当てるといったイベント。10月から11月にかけてインターネット上で出題された問題に3万人が参加して2段階の予選が行われた。その中から絞られて決戦大会に臨んだ10人は、学生やデータベースサーチャー、システムインテグレーターなど、多彩な顔ぶれとなった。

決戦大会では、まず出場者が5名ずつの2グループに分かれて競った。各分野から出題された10問を10分以内に、検索エンジンを使って解いた答えを用紙に書き込ん

でいく。通常のクイズと違う点は、問題を解くプロセスにも正しさが要求されることだ。知識として知っていても、その答えはウェブから導き出さなければならない。正しい手順で解いたかを判断するために、解答中に、各人にジャッジが付いた。

その後、最多正解者と次点が2名ずつ最終決戦に進出して、4名での早押し対決となった。この4人の中からさらに2人が絞られ、最終決戦に進んだ。

最終決戦まで進んだのは34歳で会社員の関裕司さんと、23歳で学生の柏倉伸哉さん。「第二次大戦後、アメリカで冬季オ



鉄人の称号を勝ち取った関裕司さんと検索の鉄人実行委員長の舩添要一氏

リンピックが開かれた年に死刑判決を受けたが、現在も存命中の韓国の政治家は誰？」など難問が相次いだ後、関さんが勝ち抜いて初代「検索の鉄人」の称号を得た。

優勝後のインタビューで関さんは賞金の100万円を手に入、「優勝したのは運です」と一言。関さんは今後、検索の鉄人実行委員会が行うイベントに、「鉄人」として協力していくことになる。来年もまた、第2回大会が行われる予定だ。

URL <http://tetsujin.arena.ne.jp/contents/top.htm>

Product シャープが
DSU内蔵のTA
「DN-TA1」を発売

シャープは11月21日に、DSU内蔵ターミナルアダプター「DN-TA1」を発売した。新製品は、電話機やFAX機をつなぐアナログポートを2つと、通信機器を接続するS/T端子を1つ搭載した。PIAFSもサポートし、またBOD機能により128Kbpsの通信は状況に合わせて通信チャンネル数を増減することもできる。価格は46,800円。

問い合わせ シャープ様お客様専用フリーダイヤル TEL 0120-078178



DSUを内蔵した「DN-TA1」は46,800円

Product OCN対応TA
「INSメイトV-7/
V-7 DSU」NTTが発売

NTTは、OCNや高速デジタル専用線(64Kbps)に対応したTA「INSメイトV-7/V-7 DSU」を11月28日に発売した。アナログポートは3つ搭載し、そのうち2つはナンバーディスプレイをサポートしているので、接続されたアナログ通信機器のディスプレイに発信者番号を表示させることができる。DSU内蔵の「INSメイトV-7 DSU」は55,800円、DSUなしの「INSメイトV7」は42,800円。

URL <http://ced.nttca.com/>



OCNやデジタル専用線に対応した「INSメイトV-7/V-7 DSU」

Product Atermシリーズの
エントリーモデル
NECが発売

NECは、ターミナルアダプター「Atermシリーズ」の新製品「Aterm IT50 DSU」を発売した。アナログポートを2つ搭載し、ナンバーディスプレイにも対応した。また、オプションの高機能S点ユニットを使えば、異なるTAに接続した電話機間で内線通話もできる。DSU内蔵で、価格は39,800円。

問い合わせ NECパーソナルコミュニケーションインフォメーションセンター
TEL 0120-36-1138



「Aterm IT50 DSU」はPIAFSにも対応

Product 1枚のPCカードで
携帯電話とLANに対応
「TO-PDL9610」発売

松下電器産業と松下電子応用機器は、デジタル携帯電話とイーサネットの両機能を1枚に搭載したノートパソコン用PCMCIAカード「モバイルマルチカードTO-PDL9610」を発売した。デジタル携帯電話は9600bpsまでの通信が可能で、LANに接続中でもデジタル携帯電話での通信が可能。価格は42,800円。

問い合わせ 松下電器産業(株)P3カスタマーサポートセンター TEL 03-3834-2921



デジタル携帯電話と10BASE-Tのインターフェイスを搭載

Product ネットワーク対応
プリンターの新製品
京セラが発売

京セラは、69,800円という低価格でネットワーク環境に対応したレーザープリンター「ECOSYS FS-600」を発売した。独自技術によって、ドラムカートリッジを使い捨てずにトナーの補給で印刷できるのが特徴。解像度は2400dpi相当×600dpiで、A4紙を1分あたり6枚印刷することができる。OSはウィンドウズ3.1/95/NT4.0に対応。

問い合わせ 京セラコミュニケーションシステム(株)情報システム営業本部プリンタ営業部
TEL 03-3708-3871



メモリーは標準で2Mバイト、増設は34Mバイトまで可能

Product アライドテレシスが
100BASE-TX対応の
イーサネットハブを発売

アライドテレシスは、100BASE-TX対応のファーストイーサネットハブ「CentreCOM FH505E」と「CentreCOM FH508E」の2製品を発売した。イントラネット、大容量を要するアプリケーションの増加によって起こる帯域不足を解消する100Mbpsネットワークの構築に利用する。100BASE-TXポートを5ポート搭載した「CentreCOM FH505E」は39,800円で、8ポート搭載した「CentreCOM FH508E」は49,800円。

問い合わせ アライドテレシス(株)
TEL 0120-860442



「CentreCOM FH505E」(上)と「CentreCOM FH508E」(下)

Product マクロメディアが
ウェブデザインツールの
新製品を4月に発売

マクロメディアは、プロ向けのウェブデザインツール「Macromedia Dreamweaver 日本語版」を4月中旬に発売する。価格は58,000円(予価)。ダイナミックHTMLやCSS(Cascading Style Sheets)に対応し、既存のHTMLファイルの改行などを変更しないで編集できる「Roundtrip HTML」といった機能もある。

問い合わせ (株)アスキー TEL 03-5351-8652
(株)システムソフト TEL 092-752-5264
URL <http://www.macromedia.com/jp/>



デザイナーなどのプロ向けウェブデザインツール

Product 誰でも簡単に
3D ホームページ作成
NEC「3Dプランナー」

NECは、インターネットのWWWに対応した3Dのバーチャルワールドを簡単に作成できるソフト「3Dプランナー」を12月24日に発売する。ソフトには3Dのサンプルを多数収録し、サウンドや動きのある3DのWEBサイトがマウス操作で簡単に作れる。価格は、パッケージが9,800円、ダウンロード価格は5,000円。

問い合わせ NEC高度映像メディア開発本部
VR開発
✉ vr@avm.nhe.nec.co.jp
URL <http://softplaza.biglobe.ne.jp/>



このような3Dを使ったページも簡単に作れる

Product データベースと連動した
ページが作成できる
「DBホームページビルダー」

日本アイ・ビー・エムは、データベース(DB)と連動したホームページが作成できるソフト「DBホームページビルダー・バージョン1.0」を1998年2月16日に発売する。既存の基幹系データベースシステムをウェブと連動させることへのニーズの高まりに応えるもので、ホストコンピュータの最新データを表示するウェブをワープロ感覚で作成できるようになる。

問い合わせ ダイアルIBM TEL 0120-04-1992



データベースとWEBの連動も簡単

Product 全二重対応の
インターネット電話
「インターネット・メイト」

フォーカルポイントコンピュータは、電子メールアドレスを指定することでインターネット経由の通信ができるインターネット電話パッケージ「インターネット・メイト」(UTI International社)を発売する。テレビ会議に必要なテキストボードやホワイトボード機能も搭載し、同時に複数の相手とコミュニケーションがとれる。価格は24,000円で、送受話器が付属する。

問い合わせ フォーカルポイントコンピュータ(株)
TEL 03-5484-0140



「インターネット・メイト」の操作画面

Commerce デジタルIDの
ディレクトリーサービス
ベリサインが提供

米ベリサイン社は、電子認証証明書のディレクトリーサービスを開始した。インターネットで本人確認などに使われる個人のデジタルIDの入手が簡単になる。電話の個人電話番号のようなこのサービスは、LDAP(Lightweight Directory Access Protocol)をサポートするメールソフトで利用できる。マイクロソフト アウトルックエクスプレスやネットスケープメッセージャーなどを通じて他人のデジタルIDを直接確認できるようになる。

URL <http://digitalid.verisign.com/query.htm>



従来のWEBによるサービスも継続していく

Event CATVの特性を活かしたウェブの
コンテストを開催

地域マルチメディア・ハイウェイ実験協議会は、98年春に開催する「CATVインターネットフェスタ'98」に合わせて「CATVインターネット・ホームページコンテスト'98」を実施する。コンテストの締め切りは98年2月10日で、高速性や常時接続性といったCATVインターネットのメリットを十分に活かしたホームページを募集し、グランプリには賞金50万円が贈られる。

問い合わせ 地域マルチメディア・ハイウェイ実験協議会事務局 TEL 03-3264-2551
URL <http://www.catv-inet.or.jp/>



募集要項の詳細は上記URLに掲載

Service ニフティサーブが 会員のホームページ 開設サービスを開始

ニフティは12月8日、同社が運営するニフティサーブの会員を対象にしたインターネットのホームページ開設サービス「メンバーズホームページ」を開始した。「標準コース」と「特別コース」を選択した場合は、追加料金なしで最大5Mバイトまでのホームページを開設することができる。会員が開設したホームページは、専用の検索エンジンに登録することができる。

問い合わせ ニフティ(株)入会サポート
TEL 0120-508-502

URL <http://www.niftyserve.or.jp/>



オンラインサインアップもできる

Service インターネットで オーストラリアの ビザ申請サービス

オーストラリアのビザ申請がインターネットでできるオーストラリア政府観光局のウェブサイト「The Australia web」をリンクメディアが制作した。これまでのビザ取得は、申請のために大使館まで足を運ぶ必要があったが、今後はインターネットで簡単にできるようになる。イベント情報、ビジネスや旅行のための情報も掲載する。

問い合わせ (株)リンクメディア
TEL 03-3499-2399

URL <http://www.australia.or.jp/>



オーストラリアへの転職情報も掲載

Service 全日空の国内線 予約から決済まで インターネットでOK

全日空は、国内線の予約から決済までをインターネットからできるサービスを開始した。全日空およびエア・ニッポンの国内線の空席照会と予約が24時間利用でき、予約とクレジット決済(3時~23時)が同時に可能な「ANA チケットレスサービス」を利用すれば、事前に航空券を購入する必要がなくなる。また、全日空グループ各社の採用情報なども提供していく。

URL <http://www.ana.co.jp/>



マイレージの照会もできるANAのウェブサイト

Service インプレスがIEのチャンネルコンテンツ 「Watch ニュースチャンネル」発信

インプレスは、12月1日よりインターネットエクスプローラ4.0のアクティブチャンネル機能を使ったプッシュ型の情報配信サービス「Watch ニュースチャンネル」を開始した。このサービスは、インターネットの最新情報を提供する「INTERNET Watch」、PC関連の最新情報を提供する「PC Watch」、国内外の優秀なウィンドウズ用オンラインソフトの紹介および情報提供の「窓の杜」、電腦街秋葉原のお買い得情報やニュース、地図などを提供する「秋葉原マップ」の4つのコンテンツから、最新の情報をピックアップして随時提供していく。情報の表示はアクティブデスクトップのほか、ティッカー表示やスクリーンセーバーモードにも切り替えられるので、好きなモードで情報を入手することができる。

「Watch ニュースチャンネル」の購読は、マイクロソフト社の「アクティブチャンネルガイド」やインプレスのPC Watch、INTERNET Watchのページから登録ができる。購読は無料。

インプレスは、今後この「Watch ニュースチャンネル」を他のプッシュテクノロジーにも提供していく予定で、来春にもPoint Cast社の「Point Cast Network」への対応を予定している。

URL <http://cast.watch.impress.co.jp/active/preview.htm>



Watchシリーズの最新ニュースを随時配信

Company 元ネットスケープの 杉原氏が新会社で 無料ゲームサイトを開設

元日本ネットスケープ・コミュニケーションズ社カントリーマネージャーで、インターネットの普及の尽力者である杉原信一氏が、バーチャルコミュニケーションズ(株)の代表取締役会長に就任した。杉原氏と同社は現在、大手企業などのウェブページコンテンツ制作などを主に行っているが、インターネットユーザー層の拡大のためにコンシューマー向けの事業に乗り出す。その第1弾がゲームサイトの構築・運営。これは麻雀、将棋、囲碁などのインターネット対戦ゲームサイトで、収入は広告で賄い、利用(プレイ)料金は無料としてコンピュータ以外のインターネットユーザー層の拡大を図るといふ。

問い合わせ バーチャルコミュニケーションズ(株)
TEL 03-5396-7626

URL <http://www.virtualcom.co.jp/>

Event イベントカレンダー (1998年1月~4月)

※カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へお確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
1月13日	1月14日	'98 COMPUTER & FA COMPONENT FAIR URL http://www.takagishokai.co.jp/topics/topicsts.htm	FA・電気・制御の技術者に向けて高木商会在毎年開催する展示会とセミナー。生産現場技術者や電気・制御の設計・開発に携わる139社が最新の情報を提供する。	東京卸売センターグランドホール (五反田TOC) 13F 東京都品川区五反田7-22-17	主・関 高木商会 Tel. 03-3726-7811 Fax. 03-3726-2300
1月19日	1月19日	連続セミナー97デジタル図書館 URL http://www.ipsj.or.jp/seminar/97seminar.html	「ネットワークは社会と個人をどう変えるかー21世紀のグローバル化に向けてー」というテーマで開催してきたセミナーの第5回。中堅SEを対象としている。	工学院大学 東京都新宿区西新宿1-24-2	主・関 情報処理学会 Tel. 03-5484-3535 Fax. 03-5484-3534
1月22日	1月25日	東京国際ブックフェア'98 URL http://www.jbpa.or.jp/tibf/index-e.htm	世界各国の出版社、出版関連企業による国際図書展示会。著作権売買、共同出版などの商談や流通関係者・各界専門家に販売促進の場を提供する。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 東京国際ブックフェア実行委員会 関 東京国際ブックフェア事務局 (リードエグジビジョンジャパン株式会社内) Tel. 03-3349-8501 Fax. 03-3345-7929
1月23日	3月31日	エジソン生誕150周年記念展 URL http://www.tepia.or.jp/edison.html	97年から98年にかけて3回行われる、エジソン生誕150周年を記念して開催されているイベントの第3回目。	TEPIA (機械産業記念館) 東京都港区北青山2-8-44	主・関 エジソン生誕百五十周年事業推進委員会 Tel. 03-5474-6131
2月4日	2月6日	NET & COM '98 URL http://www2.nikkeibp.co.jp/event/netcom/	インターネットテクノロジーによる企業情報システムとネットワークについてのフォーラムや展示会。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 日経BP社 関 日経BP社 エキスポ事務局 Fax. 03-5210-8285
2月4日	2月6日	PAGE98 URL http://www.jagat.or.jp/JAGAT/PAGE/index.htm	デジタルパブリッシング総合技術展。グラフィックコミュニケーションの進化をテーマに、コンファレンス、セミナー、展示会を開催。	サンシャインシティ コンベンションセンターTOKYO 東京都豊島区東池袋3-1	主 (社)日本印刷技術協会 関 PAGE98事務局 Tel. 03-3384-3112 Fax. 03-3384-3116
2月18日	2月21日	MACWORLD Expo/Tokyo'98 URL http://www.idgexpo.com/	マッキントッシュ関連のハード&ソフトウェアを展示。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 IDGワールドエキスポ/ジャパン、マックワールドコミュニケーションズ/ジャパン、日本工業新聞社、ニッポ放送、フジテレビジョン 関 MacWorld Expo/Tokyo 統括事務局 Tel. 03-5276-3751 Fax. 03-5276-3752
2月24日	2月25日	ベンチャーエキスポ'98	「新世紀を拓くアイデア、技術、ネットワーク」をテーマに開催される。	マイドームおおさか 大阪府大阪市中央区本町橋2-5	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社大阪本社企画部「ベンチャーエキスポ'98」事務局 Tel. 06-946-4104
3月3日	3月6日	'98 SA SHOW (第14回流通情報システム総合展)	「98 SECURITY SHOW」と同時に開催される展示会。POSシステムやバーコード関連、パソコン、データベース、磁気カード/ICカード、電子マネーなどがテーマ。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel. 03-5255-2847
3月3日	3月6日	'98 SECURITY SHOW	情報ネットワーク・セキュリティー・システムやオフィス用情報管理システム、ホームセキュリティー、監視用映像機器の展示会。「98 SA SHOW」と併催する。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel. 03-5255-2847
4月6日	4月9日	COMDEX/Japan'98 URL http://www.comdex.com/comdex/owa/event_home?tv_event_id=232	コンピュータの総合展示会とコンファレンス。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・関 ソフトバンクフォーラム株 Tel. 03-5642-8433 Fax. 03-5641-4617

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
1月6日	1月9日	MACWORLD Expo San Francisco '98 URL http://www.mha.com/macworld/mw98/index.html	マッキントッシュ関連のハードウェア、ソフトウェア、周辺機器などの展示会。	Moscone Convention Center San Francisco, CA, USA	関 IDG ワールドエキスポ/ジャパン Tel. 03-5276-3751 Fax. 03-5276-3752
1月8日	1月11日	1998 International Winter Consumer Electronics Show (Winter CES)	家電、情報家電などに関する展示会	Las Vegas Convention Center Las Vegas, Nevada, USA	関 CES Registration Fax. +1-732-544-2865 cesinfo@eia.org
1月20日	1月22日	COMDEX/PacRim '98 URL http://www.comdex.com/	コンピュータ関連の総合展示会とコンファレンス。	Vancouver Trade and Convention Center Vancouver, BC, Canada	関 ソフトバンクフォーラム株 Tel. 03-5642-8433 Fax. 03-5641-4617
2月4日	2月6日	Internet World Canada '98 URL http://events.internet.com/canada98/canada98.html	カナダにおける最大規模のインターネット&イントラネット関連イベント。製品やサービスなどの分野で展示会が開催される。	Metro Toronto Convention Centre Toronto, Canada	関 Mecklermedia Tel. +1-203-226-6967
3月9日	3月13日	Spring Internet World '98 URL http://events.internet.com/spring98/spring98.html	インターネットの総合展示会。	Los Angeles Convention Center Los Angeles, California, USA	関 Mecklermedia Tel. +1-203-226-6967
4月20日	4月23日	COMDEX/Spring '98 / WINDOWS World '98 URL http://www.comdex.com/	コンピュータ関連の総合展示会とコンファレンス。	McCormick Place Chicago, Illinois, USA	関 SOFTBANK COMDEX, Inc. Tel. +1-617-433-1500



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp